



**きれいな地下水のもと**  
 地下水は、山に降った雨や川などの水が長い時間をかけて地下に浸透することで、つくられます。開成町の場合は酒匂川や水田などから浸透した水が、地下水の主な源です。酒匂川は、富士山や丹沢山塊

口当たりなめらかな、冷たくておいしい開成町の水は、地下80mからくみ上げた地下水を使っています。河川やダムなどを水源とする飲み水の多くは、人工的なろ過や多くの薬品を必要としますが、開成町の水は、水道法で決められている必要最低限の消毒のみで飲み水になります。  
 また、開成町の水は、昭和60年に旧厚生省が発表した「おいしい水の要件」の全ての項目（硬度・臭気度・残留塩素・水温等の7項目）を満たしており、おいしい水であることが証明されています。  
 なぜ、開成町でおいしい水がつけられるのか。地下水の研究をしている神奈川県温泉地学研究所の宮下さんに、その理由を伺いました。

を源流に持つ、水質がきれいな川です。地下に浸透する水自体がきれいなことも水がおいしいポイントです。

**自然が作り出したろ過装置**

水は、地表から様々な地層を通過して、地下水になります。通常、地層には粘土などの水を通しにくい層と、砂や礫、砂利など水を通しやすい層が交互に重なっています。開成町が位置する足柄平野上部では、水を通しやすい層が地表から地下深くまで続いています。水を通しやすい層は、自然が作り出したろ過装置で、浄水器のように不純物を取り除いてくれます。

また、地下水は、地層を通る過程で、様々なミネラル分

を蓄えます。つまり、開成町では、蛇口からミネラルウォーターに匹敵する水が出ているといえます。

**開成町は、地下水の涵養域**

通常、地下の深い場所まで水が浸透することができ、涵養域は、山奥にあります。開成町は、その地層の特徴から足柄平野への地下水の涵養域となっています。日々、酒匂川や水田の新鮮な水を地下水として、町の真下に豊富に蓄えているのです。

今後も、酒匂川をきれいに保ち、地下水を守ることはもちろん、私としては、ぜひ、開成町の美しい田園風景を残してほしいと思います。



みやした ゆうじ 宮下 雄次さん

神奈川県温泉地学研究所の主任研究員。足柄平野等の地下水を研究している。

【神奈川県温泉地学研究所】

〒250-0031 小田原市入生田586

ホームページはコチラ▶



# 開成町の水

私たちの暮らしに欠かせない「水」。日々、当たり前で飲んでいる開成町の水は、なぜおいしいのか。今回の特集では、その秘密に迫るとともに、水を使ってもものづくりをするその道のプロたちに開成町の水の魅力を聞きました。